

「忠魂碑」

運動場の片隅にある忠魂碑です。これは、平川小学校を卒業され、明治27年以降に様々な戦争に出兵され、命を落とされた方々のために建てられたものです。

この碑はもともと職員駐車場横の公衆電話のある場所に建てられていましたが、戦後、占領軍の指導で取り壊しを余儀なくされました。

しかしながら、当時の平川の方々がこの碑を守るために、密かに泉香寺山の頂上にこの碑を移し、年に一度、慰霊祭を開いていたということです。

その後、当時この場所にあった公民館が移転したのを機に、慰霊碑をこの場所に移しました、

戦争で亡くなった方々が、いつも母校を見守ることができるよう、との願いをもってこの地に移築したそうです。慰霊碑がここにある理由が分かりました。

昔は小学生たちが登校する際、この忠魂碑に一礼して運動場に入ったそうです。



「忠魂碑の中には何がある？」

2005年に、グローバルクラブの子どもたちが、「どうしても忠魂碑の扉の中を見たい」、ということで、当時の公民館の方をお願いして開けてもらうことにしました。

忠魂碑の中には、亡くなられた方々のお名前と地区、所属されていた軍隊名が書かれた銅板が納められていました。



2022年、新たなグローバルクラブの子どもたちも忠魂碑の中にあるものを見たいということで、前回と同様に平川地域交流センターに依頼をし、鍵を借りて開けようとしたのですが、どうしても開きません。聞けば、コロナ前に例年行っていた慰霊祭が中断した後は、鍵が壊れたままで、今ではもう開けることがないとのことでした。